

ひだまり

発行所
聖愛園
〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
fax0598-49-3783

障害者総合支援法の成立に思う

私の一日は、利用者さんの住まわれている居住棟へおもむき、皆さんへの朝の挨拶から始まる。

多くの利用者さんは音楽が大好きでいつもラジカセから歌謡曲が流れている。その曲は今流行のAKBやSKEではない。橋幸夫や舟木一夫の私が青春時代に流行った曲で大変懐かしい。私たちは同じ曲を聴き、同じ時代を過ごしてきたのだ、とつくづく思う。それぞれ違った土地で生まれ、育ったが、縁があつてこの聖愛園で知り合い今日を共に生きている。



本年六月二〇日、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われることを基本

理念として障害者総合支援法が成立し、六月二七日公布された。障害者に対する支援として

- ① 重度訪問事業の拡大
- ② 共同生活介護の一元化
- ③ 地域移行支援の対象拡大
- ④ 地域生活支援事業の追加

が揚げられている。

また、国連の障害者の権利に関する条約第十九条には、「障害者が、他の者と平等に、居住地を選択し、及びどこで誰と生活するかを選択する機会を有すること並びに特定の居住施設で生活する義務を負わないこと。」とされている。

障がいをもたれた皆様の、施設から地域移行といわれて久しい。このことに対して特に反論をする気は毛頭もないが、我が施設の利用者さんを見てみると、果たして本当にそれでよいのか自問自答し、施設長として七年の歳月が流れた。重度の障害を持たれた方々

が地域の中で生活をしていくには、入浴・排泄はもとより、多くの病状をかかえ、

- ① 通院支援が出来るのか。
- ② 服薬管理を誰がするのか。
- ③ バランスのとれた食事が出来るのか。
- ④ 法に触れるような事にはなりはしないか。

等確実に支援がなされるのか心配をしている。

この度、消費税の引き上げ法案が三党合意のもと、訳のわからないうちに衆議院において可決された。

今、参議院において審議されているが、これで社会保障の全てが満たされるとは到底思わない。

施設を預かる私にとって、今なすべきことは、利用者さんが、安心して地域で生活が出来る社会が到来するまで、豊かで温かい施設支援を心がけていくことだと思っている。

暑さ厳しき折、くれぐれもご自愛いただきますようご祈念申し上げます。



聖愛園
施設長
戸野和雄

職員研修について



今年度も、聖愛園研修計画に沿って、様々な研修を実施しております。

昨年より、近隣の障害関係施設のご協力のもと3泊4日程度での宿泊研修を実施しており、他施設の良いところを当園の支援に反映させる等、研修の成果が着実に現れてきております。

内部研修としては看護師による感染対策を中心とした研修と、サービスマン責任者・支援部主任による支援技術と知識の向上を目指した研修を年間を通して行ってまいります。

より良い研修の実施は、職員の質を高めて、第一の目的である利用者の皆様の生活の質の向上に繋がるだけでなく、我々、研修を実施する側にとっても、充実した研修の場を提供する為に改めて勉強をし直すよい機会でもあります。

利用者の皆様にご満足いただけるサービスを提供できるよう、これからも職員一同、自己研鑽に励んでいきたいと考えております。

サービスマン管理責任者
弓木昭人

第14回 聖愛園 夏祭り 盛大に開催 7月8日



道芸シヨ、ささゆり学園マジック教室の皆様によるマジックシヨ、勢和いきいき保存会の皆様と一緒に踊った盆踊り等盛りだくさんの内容で大変盛り上がりました。おやつは「かき氷」を職員がかき、利用者さん、保護者の皆さんに召し上がっていただきました。

短い時間でしたが、利用者さんも楽しいひと時を過ごされていたと思います。

ご協力いただきました鶴方大道芸同好会のピエロさん、ささゆり学園マジック教室の皆様、勢和いきいき保存会の皆様、この度は誠にありがとうございました。

夏祭り担当

生活支援員 加藤英剛

晴天に恵まれた七月八日、第十四回聖愛園夏祭りを開催いたしました。

北島三郎の『まつり』にのせ、利用者さんの威勢の

良い掛け声と共に神輿の登場で幕を開けました。聞き慣れた『北国の春』の音楽にのせ保護者の方々と一緒に準備体操を行い、練習を重ねた合唱『幸せなら手を叩こう』『七夕』の発表を行いました。

鶴方大道芸同好会のピエロさんによる大

すしパーティーとカラオケ大会！！

去る二月十二日、この日は待ちに待ったすしパーティーの日！松阪市のすし正さんの協力を頂き、朝から準備となりました。

寿司職人さんがお見えになり、徐々に並んでいく寿司たち。カウンターは飾り付けの竹で彩りを加えてあり、また厨房職員による手作りの稲荷寿司と巻き寿司もあり・・・保護者の皆さまが来園される頃には、マグロに寒ブリにエビにタマゴ・・・全てのネタが揃って、パーティーの開始です。



いつもの食堂が寿司屋のカウンターに早変わり！好きなネタを取りにくい人たちでカウンターは大

混雑！ひと段落して職員が並ぶ頃には品切れなんてネタもあつたりしました・・・

お腹一杯になった後は、利用者さん・ご家族・職員合わせたカラオケ大会です！日ごろ特訓した歌を披露する利用者さんや、ご家族とデュエットを楽しむ利用者さん、職員の美声(?)に満たされる方も・・・

第二回の開催を楽しみにしたいと思います！

支援部主任

鎌倉喜昭



第五〇回 東海地区知的障害関係 施設職員研究協議会に参加して

七月五日、六日に岐阜県高山市のひだまりホテルプラザで行われた、第五十回東海地区知的障害関係施設職員研究協議会に参加しました。

テーマは「変革の時代、明日の障害福祉を私たちの手で創り出そう」です。参加人数は、三六〇人（愛知：一一四人・静岡：八五人・岐阜：一〇二人・三重：五九人）でした。

研究協議会の内容

- ・七月五日(一日目)
 - ①中央情勢報告：日本知的障害者福祉協会 総務課長 末吉 孝徳氏
 - ②分科会 (六分科会)
- ・七月六日(二日目)
 - ①基調講演：虐待防止法 弁護士 森川 幸江氏
 - ②シンポジウム：テーマ「虐待防止法にかかわる施設現場の課題」



七月五日に行われた分科会では、聖愛園は障害者支援施設(生活介護)(施設入所)に参加し、「施設支援の専門性と支援員の質の向上を高めるために」のテーマに沿って、居住事業の

紹介(共に生きる喜び)を発表させて頂きました。

内容は、施設の所在地、施設概要、基本理念、利用者さんについて、施設の日課、日中支援の内容(外出活動・創作活動・お楽しみイベント・地域の行事への参加など)、健康管理、事故発生時の対応、平成二三年

度内部研修内容、平成二三年度ヒヤリハット集計・事故報告集計、年度別通院支援人数、防災訓練の様子、夜勤の支援内容、夜勤の支援体制、今後の課題などについてです。

参加人数(一一〇人)が多い分科会での発表でしたので、緊張しましたが、自施設を振り返る良い機会となり、また他施設から意見や感想、質問を頂いた事で、今後の課題が明確化された研修になりました。この研修を生かして、今後さらに利用者さんにとって安心で安全な環境を提供し、理念の「共に生きる喜びを」を実現していきたいと思えます。

医務部長・支援部主幹

看護師 木下明美

防災対策

五月三〇日、大地震を想定した危険箇所からの回避訓練と、地震により施設内のトイレが使用不可能となった場合の簡易トイレ設置訓練を実施しました。

回避訓練は緊急地震速報が発令された後、利用者さんを速やかに窓ガラスや棚の近くから避難させ安全の確保に努めるという設定の下、滞りなく行う事が出来ましたが、実際の地震の際にはパニックになったり負傷した利用者さんへの対応や、火災の発生、避難経路の破損など様々な問題が考えられます。常に実際に大規模災害が発生した状況を想定し緊張感のある訓練を重ねていきたいと思っております。



簡易トイレの設置訓練は中庭にある合併浄化槽のマンホールを開けて、その上にポータブルトイレを置き、目隠しの為のテントを設置するまでを実施しました。訓練を通してマンホールの蓋が思いのほか固く専用の工具がなければ開けられない事や、災害用資材備蓄倉庫の中のオムツ備蓄量が少ない事等が判明し、早速買い足しを行いました。

今後もある事の際に最善の対応がとれるように、あらゆる事態を想定した訓練を行っていききたいと考えております。

防災訓練担当

生活支援員 橋倉一男

施設間交流

平成十七年四月より、近隣施設の風の丘さん・くすのき作業所さんとで行っている施設間交流も今年で七年目になりました。今年より新たに、さくら草さんが加わり四施設になりました。

二ヶ月に一度、四施設が集まりレクリエーション・軽スポーツ・季節のイベント(カラオケ大会・バーベキュー・クリスマス会・ボーリングなど)を行っています。五月には聖愛園で「カラオケ大会」を行い、



おおいに盛り上がり楽しんで頂きました。また七月には松阪森林公園にて「バーベキュー」を行い、材料を切ったり千切ったりとみんなで協力して焼きそばを作りました。自然という調味料も加わり美味しくでき、たくさんの方がお代わりをされ大盛況でした。

今後も施設間交流だからこそ出来る企画を考えて、参加された皆様の心に残る活動を行っていききたいと思えます。

施設間交流担当

生活支援員

島田聡



Happy Birthday ぽんぽこ茶や

毎週、日曜恒例の『喫茶ぽんぽこ茶や』。四月より第三日曜日に『誕生日会』を開催しています。誕生日といえれば特別な日！担当職員は何日も前からそれぞれ趣向を凝らし準備をしています。

四月はオーソドックスにショートケーキ！
五月はお好み焼きパーティー！
六月は甘くて美味しいロールケーキ！



『Happy birthday』を歌って誕生日の皆さんをお祝い！利用者さんや職員から『誕生日おめでとう！』と盛大な拍手を受け、主役の皆さんはちよっぴり恥ずかしそうにニコニコしています。美味しいおやつを食べて楽しい時間です。「美味しいなあ！」と嬉しい声が聞こえてきます。

誕生会喫茶は始まったばかりですが、毎月の定番イベントとして利用者みなさんに『自分の誕生日会が待ち遠しい！』と楽しみにして頂けるようにもっと盛り上げていきたいです。

生活支援員 高山かおる

あじさいまつり

六月一日、今年も地域の恒例行事である『丹生地区あじさいまつり』に保護者会と合同で参加いたしました。聖愛園

はかき氷とジュースを販売しました。朝から青空が広がるも少し肌寒く、かき氷は売れないのではないかと心配していましたが、お昼になるにつれて蒸し暑くなり、行列が出来る程の混雑ぶりとなりました。夕方には用意していた氷が全て無くなり完売御礼となりました！また、保護者会では紀伊長島から仕入れた魚の干物などを販売し、普段では買えないこともあり沢山のお客さんの眼を惹いていました。まつりに参加した利用者の皆さんも広い会場を見学し、歩き疲れて熱くなつた体で食べたかき氷は格別の様でした！

今後とも地域の行事には積極的に参加させていただき、地域に根差した施設としてご理解いただけるように努力をしていきたいと思っております。

あじさい祭り担当

生活支援員 中川薫



外出★活動

日々の生活の楽しみの一つとして、外出活動を実施しています。買い物がない！○○が食べたい！など...。利用者さんの希望を考慮して、行き先を決めます。よりきめ細かい対応ができるように、いつも3〜4人で活動しています。



先日は、話の合う利用者さん同士が買い物を兼ねてショッピングモール内のドーナツ屋さんへ！どれを選ぶか迷ってしまうほどのドーナツを前に「どれにしたらいい？」「これ、おいしそうやなあ。」

お気に入りのドーナツとドリンクを選び、アフタヌーンティーの時間。お話しさも手伝って会話も弾みます。楽しいおしゃべりの時間は、あつと言の間。その後は隣のスーパーでお菓子を買って帰りました。

帰り道、利用者さんが「また来たいわ。」と。その言葉を聞くと本当に来てよかったと思えます。これからも利用者さんの心に残る外出活動を続けていけたらと思います。

生活支援員 植村元紀

御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十四年一月十六日
至平成二十四年七月十五日

ご芳志ご芳名 敬称省略)

保護者会・中川和子・海住美智子
西村郁三・世古高滋

物品寄付ご芳名 敬称省略)

西秋治・石川繁子・中野久子
水谷英男・加藤八洲和・神廣かよ
武田スミヨ・森田知恵子・岩城央生
中野智恵子
榎トモ・神宮寺・こいしろの里
とみやま医院
山岡隆

(他にも匿名で品物を頂戴しております。)

事務室より・編集後記

事務員の久保加奈子です。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



機関紙ひだまり第三十六号を発行させていただきました。ご一読いただければ幸いです。宜しければブログ『聖愛園☆活動日記』もご覧下さい。
<http://seiaien.exblog.jp/>

事務主任 戸野歩